

令和2年第2回(6月)市議会定例会本会議報告について

教育総務課

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>【齋藤正徳議員】 新型コロナ危機のもとでの学校等における対応について</p> <p>① 授業時数確保のための措置は、子どもの荷重負担にならないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時数回復が進められると学校生活にゆとりがなくなり、子どもたちや教員を追い詰めることにならないか。 ・ 学習単元の組み換えや精選、次学年への移行などを検討することで、柔軟な対応は可能では。 ・ 子供たちや保護者に学びを保障する方策を伝えることも重要では。 	<p>【教育長】</p> <p>現在、各学校では長期に及んだ臨時休業で欠落した時数を回復していくため、「長期休業の短縮」「学校行事の精選」「授業時間の弾力化」「家庭学習の充実」に取り組んでおります。また、未履修の学習内容を吟味したうえで、年間指導計画を再検討し、指導を進めております。文部科学省からも、最終学年以外は、指導内容を次学年に移して教育課程を編成することも可能である旨通知されていますので、児童生徒及び教職員に過度な負担とならないよう、十分配慮して進めて参ります。5月末から各学校を訪問し、子どもの様子、先生方の様子を直に見てきております。校長先生方には詰め込みにならない授業をするようにと指導はしています。</p> <p>各学校の取組については、その都度学校だより等を通じて、保護者にもご理解いただくよう努めております。今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況がどのようになるか、見通せない状況ではありますが、児童生徒及び教職員の負担が過度とならないよう十分留意し、保護者への周知を図りながら進めて参ります。</p>
<p>【再質問】 小学6年生時の未履修を中学1年でできないか。高校入試への配慮は。</p>	<p>各学校で、授業時数を調査したところ、長期休業の短縮や学校行事の精選等により年度内で学習が終了するという試算がでています。第2波、3波がきて臨時休業をしなければならぬ事態になれば、改めて対</p>

- ② 家計収入急減で学びをあきらめざるをえない子どもたちの支援は。
- ・ 就学援助費の柔軟な対応と追加支給について所見を。
 - ・ 給付型奨学金の創設なども視野に入れた市独自の新たな支援策は。

【再質問】

今年度に限って給食の無償化を提案するが、見解は。

応をしていかなければならないと考えております。

中学3年生の入試については、このような状況から、十分考慮した対応を県教委にはしていただいているものと考えております。長野地域の教育長会議でも要請、お願いしているところです。

【教育部長】

新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した児童生徒につきましては、必要な援助を行えるように準備を進めているところでもあります。これにより、たとえ年度途中であっても援助が受けられるよう柔軟に対応してまいりたいと考えております。

また、追加の支給につきましては、5月19日付の文部科学省事務連絡において、学校休業中であっても例外的に給食が実施されたものとみなし、要保護児童生徒援助費補助金の対象経費として計上して差し支えない旨の通知がありましたことから、本市といたしましては、臨時休業中、昼食を用意した保護者の負担を考慮し、要保護者に加え、準要保護者へも同様に給食費相当額を支給する対応をとりたいと考えております。

高校、大学等へ進学した学生への援助としましては、本市では親元を離れ県外で就学している学生を対象に、「ふるさと千曲学生応援」を実施しております。なお、給付型奨学金などのその他の独自支援策につきましては、現段階では考えておりません。

無償化は考えていませんが、5月25日～29日の間は簡易給食を提供しましたが、児

【柳澤眞由美議員】

①学習の遅れと学校生活の回復について。

- ・長期休校が続いた子どもたちに市長からメッセージを。失われた学びの機会を回復・保障について見解を。
- ・学校のプール活動について今シーズンの見解を。
- ・第2波、第3波を想定した対応マニュアルの作成は。新しい人権教育の内容を作る必要性は、予定は。

童・生徒には無償提供しました。

【市長】

「学習の遅れと学校生活の回復について」
であります、

臨時休業が始まる前の2月29日付で、私から児童生徒の皆さんに、休業にする理由、予防法、家庭生活についてメッセージを出させていただきました。

現在は学校が再開されていますが、長期間の休業を経験したことにより、児童生徒は、学校に行って勉強する、友達と遊ぶ、給食を食べる、部活動をするなど、『当たり前だったこと』が、いかに素晴らしいことだったか実感できたのではないかと思います。こうした思いは、これからの子ども達の生活にも必ず生かされることでしょう。また、『新しい生活様式』にはとまどいもあるとは思いますが、マラソンと同じように、焦らずみんなで力を合わせ頑張りたいと願っていますが、議員のご意見のとおり、こうした内容にふれながらメッセージとして改めて発したいと思います。

次に、臨時休業中により失われた学びについては、夏休みの短縮や行事の厳選等により保障していきますが、児童生徒や職員に負担とならないよう学校にお願いしています。また、三たび、臨時休業になっても、学びの歩みを止めることがないよう「GIGAスクール構想」によるICTの整備をすることにより、オンライン学習ができるよう進めたいと考えており、県においても教員にスキルを身に付けるための研修計画や、体制づくりのためのICT教育支援センターを立ち上げることも計画しています。家庭でのネット環境の整備等課題もありますが、県と連携して、学校の機器・環境整備と教

員の研修には、しっかりと取り組んでまいります。

【教育長】

市長がお答えいたしました以外のご質問につきましては、私からお答えさせていただきます。

小学校低学年の水遊び、3年生以上の水泳運動、中学校での水泳は、児童生徒にとって、夏には欠かせない楽しみにしている学習と認識しています。しかしながら、児童生徒の密集・密接の場面が多く想定され、それを回避する対策を講じなければならないこと、手が触れる箇所をこまめに消毒しなければならないことなど、様々な感染リスクへの対策を講じることは困難であることから今年度のプールでの学習は中止することとしました。業者による機器の点検等も6月より始まりますので、4月末に判断いたしました。

今後、第2波、第3波等による臨時休業は十分想定されます。状況に応じて市内一斉の臨時休業、校内の消毒、分散登校・家庭学習の措置などの準備をしています。また、3月に作成した学校再開に向けてマニュアルを文部科学省や県の通知により修正しながら各校に指示を出しているところです。教育委員会事務局内では、毎週1回から2回のコロナ対策会議を開催する中で、ガイドラインの見直しなどを行い、校長会とも密に連携を図りながら、取り組みを行ってきております。

次に人権教育についてであります。感染者あるいは濃厚接触者になった場合や、家族が医療従事者である場合の偏見やいじめについては、SNSでのモラルも含めて、人権教育の中に組み込み指導するよう指示を出しております。感染する可能性は誰にでも

【再質問】

- ・ Wi-Fi 環境がない約半数の家庭にルーターの貸し出しについて
- ・ 市営プールも中止か
- ・ 週末になり、子どもたちに疲れが見えている。授業のスピードが早いといった声があるが、時数にこだわらず、授業を進めてもらいたい。

【倉島さやか議員】

- ①千曲市版 GIGA スクール構想の実現について。
- ・ 小中学生に 1 人 1 台の端末が用意されるが、通信環境、端末整備の今後の予定は。

【再質問】

- ・ 設置する Wi-Fi の強さは。例えばグラウンドで有効か。

あり、決して差別されるものではないこと、医療従事者への感謝の気持ちを持つこと等を、保護者への啓発も含めて、力を尽くして取り組んでまいります。

【教育長】

- ・ まず、学校の ICT 環境の整備に力を入れたい。ルーターの貸し出しについてはまだ考えていない。
 - ・ 市営プールについては、施設が古いことから更衣室が狭く、密になってしまう現状から安全を考慮して、今年度は中止といたしました。
 - ・ 先生たちはみなまじめなので、子供たちにあれも学んでほしい、これも身につけてほしいといった思いから、焦りもあり授業の進め方に少し余裕がなくなっているかもしれません。各校長には焦らずじっくり指導するようにとお願いをしているところであります。
- 始まったばかりなので様子を見ていきたいと思います。

【教育部長】

当市では、文部科学省が令和 2 年度に限り行う補助制度を活用し、今年度「校内通信ネットワーク・充電保管庫の整備」及び「児童・生徒 1 人 1 台端末の整備」をしてまいります。端末につきましては、調達コストの削減が見込まれますことから、長野県市町村自治振興組合で進めている共同調達に参加し、購入したいと考えております。

- ・ 学校の各教室に Wi-Fi の機器を設置する予定です。有効範囲はまだ不明ですが、各

- ・ 端末を使用した学習の有効な活用方法は。

【再質問】

第2波が来た場合、まずWi-Fi環境のある家庭はオンライン事業をやるなど柔軟な対応はできないか。

【再々質問】

先生方の研修は、GIGAスクール構想の研修なのか、タブレットの操作の研修なのか。

② コロナ禍においての子どもたちの学びの保障について。

- ・ 授業時間、社会活動の保障についてどのような対応を予定しているか。千曲市独自の取り組みは。
- ・ 児童館と学校との連携について現状と課題は。

教室、遜色ないようにしてまいります。

ポケットWi-Fiについては通信料などがいくつか課題がありますので、今後検討をしていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備え、まずは教員が学習課題や動画の配信、ビデオ通話などオンライン学習のスキルを身に着けるための研修を進め、更に、休業になった場合に備えオンライン授業に移行できる体制を段階的に構築していきたいと考えております。

第2波、第3波を想定し、ズームなどを使ったオンライン授業ができるよう研修を進めていきたい。

【教育長】

先生方の研修は、ズーム等を使ったオンライン授業の研修です。ズームは40分間通信料が無料なので、いざ休校となった場合に使っていきたい。ICT環境が整備されていない家庭は、スマホでやらなければならないが、親のスマホなので子どもだけでは使えない問題がある。検討すべき課題がいくつかあります。

【教育長】

授業時間については、児童生徒及び教職員に過度な負担がからないよう十分配慮し、また来年度以降も見通しながら、「長期休業の短縮」や「学校行事の厳選」などにより、各学校において確保しているところです。更に、生徒児童の家庭のインターネット環境整備が50%以下という調査結果から、臨時休業中は紙ベースにより家庭学習を進めてきましたが、三たびの休業も想定

し、オンライン学習の実施に向けて ICT 関係の整備、研修も進める予定であります。

学校行事等の中には感染リスクの高い活動など、中止や変更をせざるを得ないものもありますが、児童生徒が楽しみにしているものも多く、行事を通して得られる教育的意義も大きいことから、様々な工夫によりリスクを低減し、実施できるよう検討しております。

2 点目の児童館と学校との連携についてであります。児童館で行う放課後児童クラブは、臨時休業中は登録児童に限り受け入れを行いました。長期間となったことによる職員体制や、3 密回避の対策が課題となりましたが、学校施設の活用や学校教職員による支援など学校と連携して進めてまいりました。

今後は、第 2 波を見据え、学校と情報共有を図りながら、受け入れ体制の確保や感染防止対策などの研究を進めてまいります。

【滝沢清人議員】

E S D（持続可能な開発のための教育）の取り組み方は。

- ・あと 10 年ということを見ると、児童・生徒など若い世代への啓発に傾注しなければならないと考えますが、市の取組について伺う。

【教育長】

E S D は、「持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」であり、「環境、エネルギー、防災、気候変動、国際理解、世界遺産や地域文化財」等に関する統合的な学習を行い、人間性を育み、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育てることが求められております。

そのため、「持続可能な開発」に関する価値観を持たせるとともに、多面的・総合的な思考力や分析力を身につけさせ、地球的な課題への関心を喚起し、理解を深め、自発的・体験的な行動に結び付けていくことが重要であると考えております。

具体的な取り組みとしては、牛乳パック

の収集や資源回収等による、再利用に関する資源問題や学校に設置されている太陽光発電による二酸化炭素の削減対策などを行っております。

また、昨年発生しました千曲川の氾濫後におけるゴミの片付け等の清掃活動、ハンガリー卓球選手団との交流活動等はじめ、道徳や人権教育、食べ物を大切にして食品ロスをなくす食育活動、ゴミの分別収集など日常の活動においても、児童・生徒たちへのE S D教育の啓発や実践に繋がっている大事な活動のひとつと考えております。

教育委員会といたしましては、限りある地球の資源や壊れやすい自然環境について、全教育活動の中で発達段階に応じて子どもたちに考えさせ、課題に立ち向かい解決していく力を育む教育を推進してまいります。

【再質問】

子どもの時の教えが大事なので、E S Dの教育をぜひ進めていただきたいがいかかか。

今は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われている状況ですが、その時々状況に応じた対応の大切さを感じています。

校長会等を通じて周知はしていきたいと考えています。

【宮坂重道議員】

①戦後 75 年食糧難を乗り越えて今があるが、見かけばかりの豊かさに矛盾を感じませんか。

【教育長】

5 月末、ある小学校の半日授業の様子を見てきた教育委員会の職員が、私に報告をしてくれた話をさせていただきます。臨時休業明けで、久しぶりに学校へ登校した 1 年生は、教室にカバンを置くやいなや、魚を捕まえる網を持って教室から飛び出して行きました。

一目散に向かった先は、学校の前に流れる小川です。数人単位のまとまりで、網を小川に入れて一生懸命何かを探しているよ

うでした。それはザリガニでした。あちこちで歓声が沸き上がり、見に行くと捕まえたザリガニを自慢気に見せてくれたそうです。この時の子ども達の笑顔は光り輝いていたと話してくれました。

私が教育の中で大切にしたいことのひとつに、この話のように、自然の中で動植物と親しみ、様々な体験をすることがあります。この体験を通して、協調性が培われるとともに感性が育まれるものと思われまます。またその体験時、満足する場面もありますし、思うようにいかない失敗場面も多々あるわけですが、それらすべてが自分の経験値として蓄積され、将来の生き方に結びついていくものであろうと確信をしています。

今の小中学生は皆、平成生まれです。欲しい物、食べたい物が何不自由なく手に入る時代、物が溢れている時代に育っています。食糧難の時代と現在は豊かさの価値観が大きく異なりますが、幼少期から自然や動植物などと触れ合うことが、子どもの成長に大きく影響することは、今も昔も変わりありません。人間形成は様々な体験活動や遊びの中から醸成され、人としての感性が育っていきます。千曲市の持つ自然のすばらしさを活かしながら、豊かな心を持った子ども達に成長してほしいと切に願っています。

- ②スピード感を旨とする車社会で車に潰された小動物・動物は路肩へよせて。
・動物愛護教育は上滑りで実態に沿っていないのでは。また、動物愛護教育は実社会の矛盾に対し、子どもたちは理解しているか。

かつて学校では、うさぎやにわとりをはじめ、様々な種類の動物を飼育していました。そして学年毎に飼育動物の分担が決められ、水や食事の世話、飼育小屋の清掃、散歩など、動物と関わりながら心の醸成を図ってきました。

現在においてもその教育は不変であると思っています。飼育する動物の種類は変わ

	<p>っていますが、子ども達は小学校低学年の生活科や理科の学習、総合的な学習の時間等を通して、動植物と関わりながら、命の尊さや動物愛護の心を育てています。</p> <p>また、犬や猫等を飼育している家庭も多くいます。心の教育は学校のみならず家庭においても大切な教育です。幸い千曲市には、家庭教育支援条例がございますので、この条例と合わせて子ども達の育ちを見守っていきたいと考えます。</p>
--	---

生涯学習課

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>【大澤洋子議員】 公民館・図書館等の対応について 長野県では、コロナウイルスの感染拡大を受けた国の緊急事態宣言が5月14日に解除されたが、市内の公民館はそれから1週間も休館を続け5月23日から会議のみの利用制限をして再開した。</p> <p>また、その他の施設も再開日は違うが、解除後すぐの対応ができていなかった。</p> <p>緊急事態宣言中に再開等の準備をすべきではなかったか。</p> <p>【再質問】 他の施設は5月16日以降、順次再開しているのに、公民館は1週間遅れた。23日からは、制限によりストレスを抱える市民に寄り添い、早く活動を再開させていくべきだったと思うがどうか。</p> <p>【再々質問】 なぜ会議のみとしたのか。</p> <p>【再々再質問】 国・県の要請によりそのような対応とな</p>	<p>【教育部長】 市民を安全に受入れるための対策整備に時間が必要だった。不要不急でなく、三密を避けて実施が可能なのは会議のみとの判断をした。</p> <p>利用者への周知期間も考慮し、そのような日程とした。</p> <p>利用者の安全を第一に考え、不要不急のものはお断りし、三密を避けて実施可能な会議のみに制限した。</p> <p>安全な状態で活動してもらうために、会議のみ、人数制限をしながら受け入れた。</p> <p>国内、県内の状況は、まだそのような状</p>

ったと思うが、市民の希望に十分に寄り添ってどのようにすればできるか工夫して、早く開放すべきではなかったか。

況になかった。そのため、近隣自治体と足並みを揃えて進めてきた。